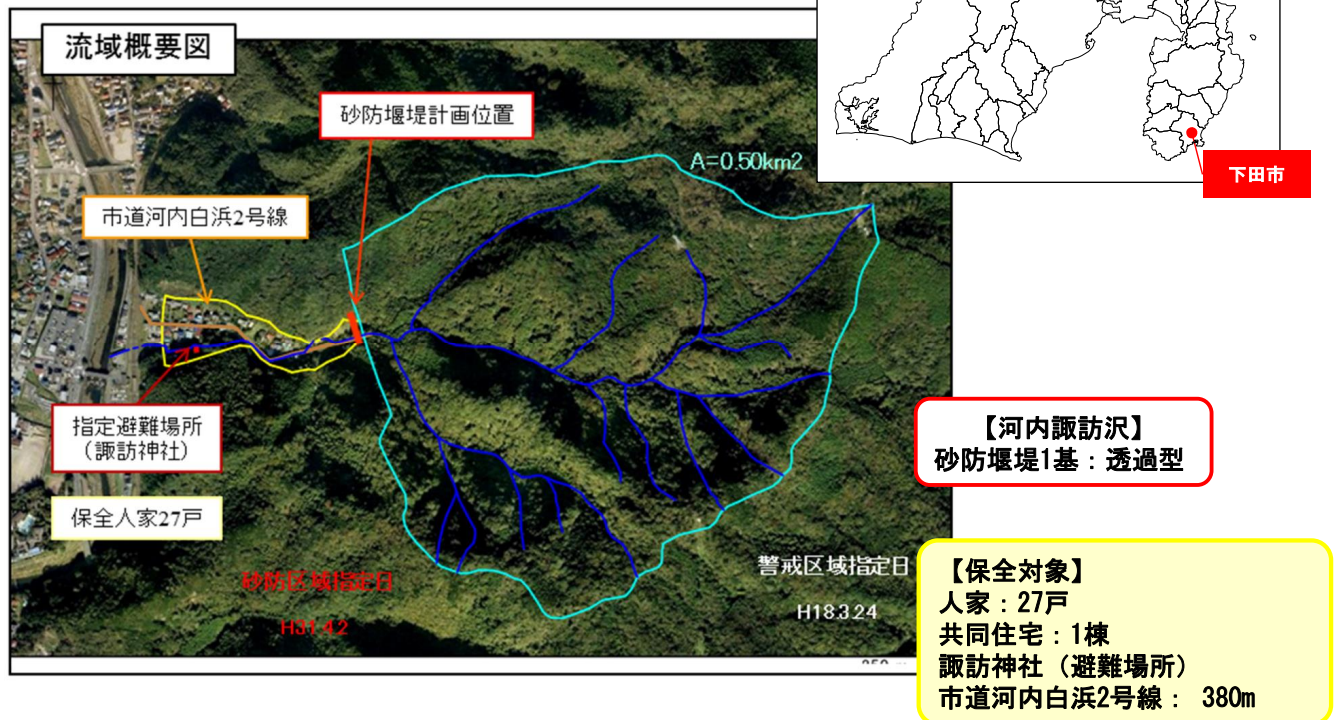


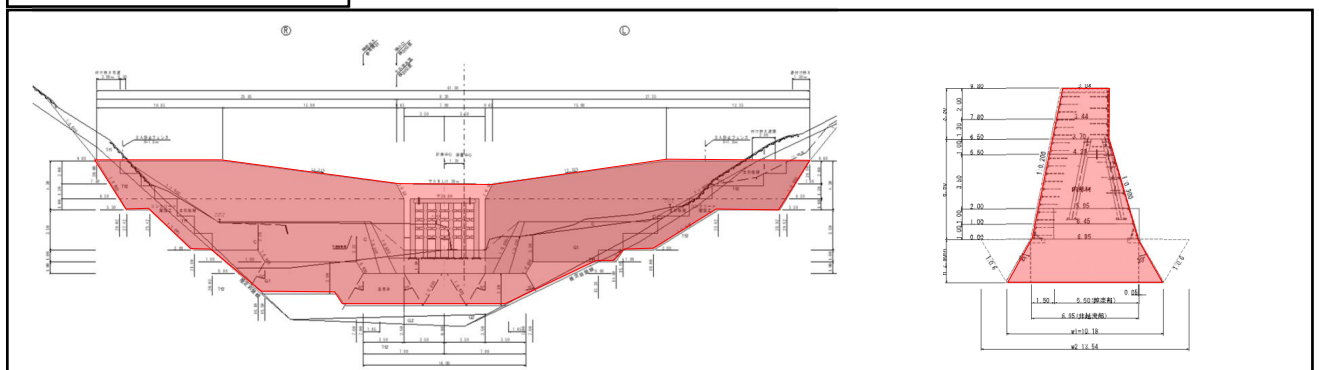
番号	13	令和8年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課																											
事業名	通常砂防事業				事業主体	静岡県																												
ふりがな	いのうざわかわしせんこうちすわざわ				関係市町	下田市																												
箇所名	稲生沢川支川河内諏訪沢																																	
事業採択年度	平成 29 年度		計画期間	平成29年度 ～ 令和10年度																														
用地着手年度	平成 30 年度		工事着手年度	令和 4 年度																														
再評価理由※	前回再評価後5年経過																																	
全体事業費	百万円 650	投資状況 (百万円)	～R6年度 191	R7年度 185	R8年度見込 70	計 446																												
事業概要	(1)事業目的 河内諏訪沢は、下田市東部に位置し、保全対象に人家27戸、共同住宅1棟、諏訪神社（避難場所）を含む土石流危険渓流である。当該地区の上流では、渓床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。 (2)事業内容 施工延長： 62 m 本堤工： 1 式 垂直壁工： 1 式																																	
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発し、甚大な土砂災害が多く発生している。当該地区の上流は、渓床に不安定な土石が堆積し、豪雨により土石流災害が発生する恐れがあり、人家等に被害が及ぶことが懸念されるため、砂防堰堤を整備する必要がある。被害想定区域を含む21世帯にアンケートを実施したところ、回答者全員が「事業を継続する必要性を感じる」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望は強い。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和 8 年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>4.6</td><td>7.7</td><td>10.4</td><td>13.0%</td></tr></table> ・総便益 (B) 24.3 億円 (平均便益：1.4億円) ・総費用 (C) 5.3 億円 (建設費：5.0億円、維持管理費：0.3円、用地残存価値：0.1億円) ○見込まれる効果（定性的な効果） ・土石流による甚大な被害の防止 (3)事業の進捗状況 (令和 8 年度見込み) <table><tr><th>区 分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td>事業費</td><td>68.6%</td><td colspan="2">(446 百万円 / 650 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>砂防堰堤工</td><td>0.0%</td><td>(0 m / 7 m)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(m / m)</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>100.0%</td><td colspan="2">(9,218 m² / 9,218 m²)</td></tr></table> 評価 継続が妥当							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	4.6	7.7	10.4	13.0%	区 分	進捗率	内 訳		事業費	68.6%	(446 百万円 / 650 百万円)		事業量	砂防堰堤工	0.0%	(0 m / 7 m)			(m / m)	用地取得	100.0%	(9,218 m ² / 9,218 m ²)	
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																															
4.6	7.7	10.4	13.0%																															
区 分	進捗率	内 訳																																
事業費	68.6%	(446 百万円 / 650 百万円)																																
事業量	砂防堰堤工	0.0%	(0 m / 7 m)																															
			(m / m)																															
用地取得	100.0%	(9,218 m ² / 9,218 m ²)																																
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 地元住民からの期待も大きいことから、事業を計画的に推進し、令和10年度完了を目指す。 評価 継続が妥当																																	
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 残存型枠を採用可能な堰堤本体工等の構造物に対して採用することや、活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト削減と工期短縮を図っていく。																																	
対応方針(案)	(1)対応方針(案) 本事業を 【 継続 】 する。 (2)理由 事業は順調に推移しており、費用対効果も認められることから、事業を継続して整備の推進を図る。																																	

1. 位置図



2. 事業概要

正面図・側面図



事業目的

河内諏訪沢は、下田市東部に位置し、保全対象に人家27戸、共同住宅1棟、諏訪神社（避難場所）を含む土石流危険渓流である。当該地区の上流では、溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。

荒廃状況



事業内容

渓流名： 稲生沢川支川河内諏訪沢（下田市河内地区）
事業期間： 平成29年度～令和10年度
事業費： 650百万円
事業量： 砂防堰堤工 1基（透過型）
堰堤（透過型）：高さ6.5m、堤長61.5m、計画捕捉量1,208m³

周辺状況



3. 河内諏訪沢の事業概要

前回からの変更点・理由

	前回（R3）	今回（R7）	主な変更理由
①計画期間	H29～R7	H29～R10 （+3年）	・事業範囲内に所有者不明地が確認され、所有者の特定に不測の日時を要したため。
②全体事業費	307百万円	650百万円 （+349）	・工事用道路の幅員、施工現場の出入り口等が当初想定と比較し、狭いことが判明し、小さい施工機械での施工が余儀なくされたため。

4. 事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

総便益 24.3億円

- ☐ 直接被害
・家屋被害、道路被害、人的被害（逸失利益）
- ☐ 間接被害
・営業停止、交通途絶、人的被害（精神障害）

総費用（C）

総費用 5.3億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):4.6 経済的内部収益率(EIRR):13.0%

前回の費用対効果(B/C):4.7

全体事業費が増大したことにより、B/Cが減少している

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- ・ 計画的に事業進捗を推進するために、地元調整を行いながら令和10年度の完了を目指す。
- ・ 活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト縮減と工期短縮を図っていく。